令和3年度

予算

令和３年度一般会計予算は
１４５億１１８万４千円

積極果敢に、新しい時代のまちづくりにチャレンジ！

令和３年度当初予算は、財政の健全化を保ちつつ、第６次白石市総合計画に基づく新たな将来像である「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまちしろいし」の実現に向けて、学校教育の充実、（仮称）白石中央スマートインターチェンジ整備や公園施設長寿命化対策、まちづくり事業の推進に重点を置いた予算編成を行いました。

一般会計、特別会計および企業会計をあわせた予算総額は255億2,199万3千円で、前年度当初予算額と比較すると1.7%、4億3,120万3千円の増、そのうち、一般会計は145億118万4千円で、前年度と比較すると2.8%、3億9,607万3千円の増となりました。

なお、一般会計予算の内容はホームページでもご覧いただけます。

㊐財政課　☎22-1332

歳入

新型コロナウイルス感染症の影響により、市税については、３・９%、１億５、２２９万６千円の減の37億３、９７４万１千円を見込んでいるほか、地方譲与税が６・７%、１、３２０万円減の１億８、４８０万円、使用料及び手数料が４・９%、８４６万６千円の減の１億６、４０５万５千円を見込んでおります。

地方交付税は、地方財政計画や過去の交付実績などを踏まえ、前年同額の41億５、０００万円を見込んでいます。

国庫支出金は、二酸化炭素排出抑制事業費等補助金や道路更新防災等対策事業費補助金の増加などで、前年度比１１・８%、２億２、２０６万８千円増の21億１、０５８万８千円を見込んでいます。

県支出金は、子どものための教育・保育給付費負担金の増加などで、前年度比２・７%、２、３６１万円増の８億９、５３７万４千円を見込んでいます。

なお、不足する財源を補うための財政調整基金からの繰入れは、前年度比11・６%、１、８００万円増の１億７、３００万円を見込んでいます。

歳出

人件費は、退職手当組合負担金の減少などにより、前年度比２・３%、６、６４７万９千円減の27億９、２６７万円となりました。　扶助費は、私立保育園や認定こども園に対する給付費の増加などで、前年度比８・３%、２億１、００３万１千円増の27億４、３７０万円となりました。

公債費は、元金償還金の増加で、０・７%、８７８万４千円増の11億８、２２２万５千円となりました。

普通建設事業費は、国庫補助によるホワイトキューブＺＥＢ化推進改修事業、橋梁長寿命化事業などの増加で、前年度比12・３%、１億２、１８１万円増の11億１、１６８万円となりました。

補助費等は、６次産業チャレンジ事業補助金の終了や下水道事業会計補助金の減少などで、前年度比５・２%、９、５１５万７千円減の17億４、７２２万３千円となりました。

物件費は、汚染廃棄物処理運搬業務委託料やふるさと納税業務委託料の増加などで、前年度比８・８%、２億１、４１６万円増の26億３、５１８万１千円となりました。

市債

令和３年度末の市債残高は、借入が前年度比５・７%、１億７、１２０万円増の８億２、４４０万円、元金償還金が１・６%、１、７８９万２千円増の11億１、９８４万１千円となるため、前年度末と比べ２・６%、２億９、５４４万１千円減の１０９億５、３０９万６千円（うち臨時財政対策債５１億１、４１０万１千円）を見込んでいます。

■目的別の予算額と主な事業

民生費　51億7,063万6千円（35.7%）
- ●保育事業（保育園等の整備、運営、給付費）　10億　884万8千円
- ●障害者総合支援費　7億1,925万8千円
- ●子ども・心身障害児者医療費助成事業　1億7,674万6千円
- ●子育て支援・多世代交流複合施設運営事業　2,530万6千円

総務費　26億　84万9千円（17.9%）
- ●ホワイトキューブZEB化推進改修事業　3億　761万9千円
- ●ふるさと納税推進事業　2億7,772万2千円
- ●市民バス運行管理事業　8,031万6千円
- ●定住促進事業　3,740万7千円
- ●まちづくり推進事業　1,220万5千円

衛生費　14億3,987万6千円（9.9%）
- ●白石市外二町組合に対する出資金、負担金、補助金　6億2,000万円
- ●予防接種事業　1億3,397万2千円
- ●放射能対策事業　1億2,464万8千円
- ●妊婦・産婦健診助成事業　1,729万2千円

土木費　12億9,784万4千円（8.9%）
- ●橋梁長寿命化対策事業　2億1,940万円
- ●中河原白石沖線街路事業　1億2,306万9千円
- ●スマートインターチェンジ整備事業　7,708万6千円
- ●公園施設長寿命化対策支援事業　4,020万円

教育費　12億1,397万6千円（8.4%）
- ●外国語・国際理解教育推進事業　3,251万7千円
- ●教育情報化推進事業　2,197万8千円
- ●学力向上プロジェクト事業　1,032万5千円

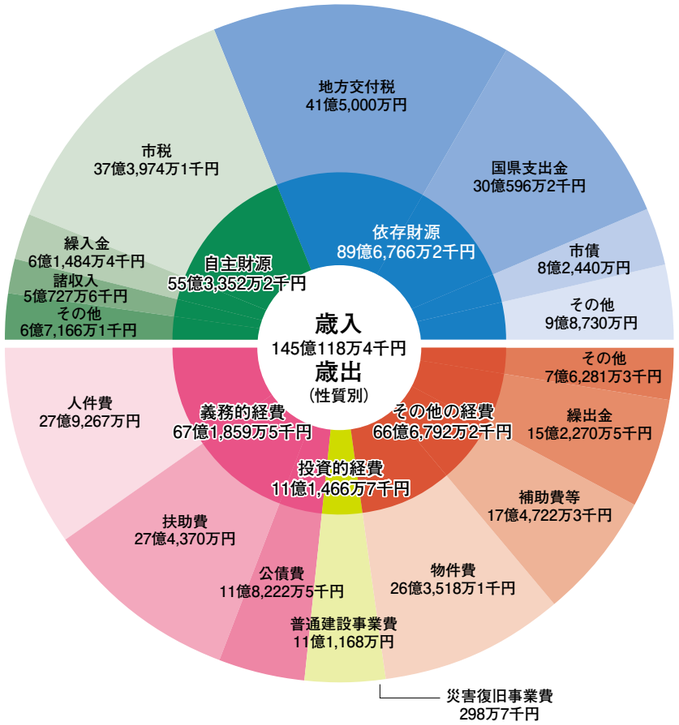
公債費　11億8,222万5千円（8.2%）

商工費　5億　880万6千円（3.5%）
- ●企業立地推進費　5,153万2千円

消防費　4億9,600万4千円（3.4%）
- ●消防施設整備事業　2,764万9千円

農林水産業費　4億　478万4千円（2.8%）
- ●有害鳥獣対策事業　3,662万5千円

その他　1億8,618万4千円（1.3%）



【一般会計】

市の会計の中心となるもので、市行政運営の基本的な経費を計上した会計です。皆さんから納めていただく市税のほか、地方交付税をはじめとする交付金などを財源として、子どもから高齢者までだれもが安心して暮らすための各種福祉サービス事業、道路や公園などの都市基盤の整備、学校教育や生涯学習事業などを行います。

【特別会計】

特定の事業を行う場合、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。本市は３つの特別会計を設けています。

特別会計	80億2,206万4千円
国民健康保険	36億7,764万円
介護保険	39億3,365万9千円
後期高齢者医療	4億1,076万5千円

【企業会計】

独立採算を基本とし、地方公営企業法が適用される公営企業の会計です。

企業会計		29億9,874万5千円
水道事業	収益的支出	8億5,312万4千円
	資本的支出	3億　19万2千円
下水道事業	収益的支出	10億3,734万2千円
	資本的支出	8億　808万7千円